

岩屋通信

第5号 04(平成十六年十一月)

月日の経つのは早いもので今年もわずかとなりました。

合氣万生道長崎北道場も会員の一致団結した尽力と、関係各位のご協力により長崎市内北部の長崎市立岩屋中学校の武道場をお借りして平成十四年七月十三日に呱呱の声を上げてから早二年以上が過ぎようとしています。

その間、衛藤四段が会員各位の近況お知らせや、本部において毎月一回開催される有段者交流研修会の

報告などを記載した「岩屋通信」を編集・発行してくれていました。

しかし、今年夏、同じ北海道会員でもある奥様ととも豪州へ行かれました。当面は日本と行ったり来たり生活のようですが忙しいため、この機関紙を野瀬が引き継ぐことになりました。

しかし、仕事の忙しさや今年の夏の猛暑などで、ついつい発行が遅れてすみませんでした。

今後は、不定期ですが可能な限り数多く発行して皆様のご期待に沿えるよう頑張りますのでよろしくお願ひします。

なお、内容や様式は発行しながら少しずつ体裁を整えていこうかと思っています

が、本部での研修会終了後の懇談会で砂泊先生がハーモニカの演奏をなされるのは、「問題山積の世相の中で、皆さんが気持ちよく研修会後各地に帰っていったら」と言われておられたのを以前聞いたこともあり、毎号の発行時期の季節に合う花々を一カツト、自分なりのコメント付で読者の方の癒しを兼ねて記載しますので、併せてご期待

下さい。
 去る十一月七日(日)正午から熊本市の公徳会道場において開催された第三四九回有段者交流研修会に、北海道からは浜田、市川、大平、古屋、田中各氏と野瀬の合計六名が古屋さんの乗用車に便乗させてもらい参加しました。お陰で、北海道の研修会への参加者も毎月コンスタントにだいたい五名以上は参加するようになりました。

の表れの一環だと思えます。

しかし、せっかくの研修会ですし、諸般の事情で行けなかった北海道の仲間にも結果を知らせるのも参加した者の責務でありますので、その概要をお知らせします。

・正午から約一時間半、呼吸力の基本技を中心にして指導を受けた。

しかし、それ以外に相手が胸を取ってくるのを、内さばきでかわす技について、間合いが大切なことを力説されていた。これは、日頃稽古の中でやりますと相手の手

に気がとられがち
なことを戒めるこ
ともあり、たいへん
勉強になった。

稽古時間は当初、
一時間の予定であ
ったが、先生もだん
だんご指導に熱が
入ってきて、一時三
十分過ぎまで行わ
れた。

・懇談会は、いつも
のように、場所を本
部道場に移動して
行った。特に今回は
昭和二十八年十一
月二十三日(その一
ヶ月前に来熊)市内
の手取本町にあつ
た当時の振武館道
場で先生がはじめ
て合氣道の公開演
武を開催されてか

らちようど五十一
年目のその月に当
ることから、お祝い
を兼ねてビールな
どをご馳走になつ
た。

また、最後は先生
のハーモニカ演奏
もあり和やかな雰
囲気の中、十一月に
してはやや暑さも
感じられる中、無事
終了し、各道場から
の参加者はそれぞ
れ帰路についた。

【お知らせ】

十一月二十八日(日)
午後、岩屋中学校武
道場で、北道場の演武
大会を開催します。
特に、今回は日頃か
ら熱心に稽古してい

る小中学生を中心の
プログラムを予定し
ております。しかし、
一般の会員も一つは
演武に出場するよう
一層稽古に励んでく
ださい。

詳しくは、実行委員
の方から連絡しても
らいます。

終了後、ささやかで
すが、汗流しを兼ねて
北道場近くの道ノ尾
界隈で夕方から懇親
会を開催したいと思
いますので、一般会員
及び父兄で参加でき
る方はよろしくお願
いします。

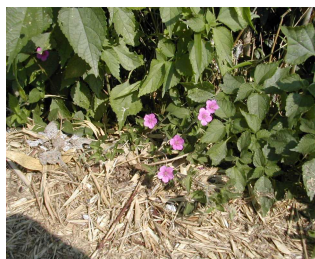
なお、北道場の十二
月恒例の忘年会は衛
藤ご夫妻の帰国を待
って別途開催予定で

す。

十二月の本部での
有段者交流研修会は
十二月五日(日)、正
午から熊本本部(稽古
は公德会道場)で行わ
れます。今回は合氣万
生道全体の忘年会も
兼ねており、参加費は
三千円です。参加者は
早めに浜田道場長か
野瀬までご連絡下さ
い。

来る十一月十一
(土)午前中、いつも
利用させていただい
ている岩屋中学校の
公開カリキュラムが
予定されています。つ
いては、中学校の方か
ら北道場にも技など
の紹介を兼ねて参加
要請があつています

ので、参加することで
調整中です。時間の都
合のつく会員は参加
方よろしくお願いま
す。詳細については、
後日連絡します。



ゲンノシユウコ

日当りの良い山道
脇などで見られる、ど
ちらかといえは夏の
花であるが、秋まで花
がつく。その和名は、
煎じて飲めば胃腸病
に効くといわれ、現の
証拠からきている。
フウロソウ科